

# MAXZEN

# 温調機能付電気ガラスケトル

## 取扱説明書

品番 JKT10MT01

### もくじ

ページ

安全上のご注意…………… P1～4

各部のなまえ…………… P5

操作パネルについて…………… P6

使いかた…………… P6～8

モードについて…………… P9～11

お手入れのしかた…………… P12

故障かな?と思ったら…………… P13

製品仕様…………… P14

家庭用

日本国内専用



この度は「温調機能付電気ガラスケトル」をお買い上げいただきありがとうございます。  
この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項及び警告事項について詳しく記載しています。  
本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分に理解された  
上で事故が起これぬように記載内容に従って正しくご使用願います。本製品は一般家庭用に  
開発された製品です。事故や故障の原因になりますので、業務用としては絶対に使用しない  
でください。また、一度お読みになった後も必要時にいつでも確認できるように、すぐに取  
り出せる場所へ大切に保管してください。  
製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。予めご了承ください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 **注意** 人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

 記号は、「禁止」(しないでください)を示します。

 記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

## 安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

## 警告



分解禁止

**絶対に改造、分解、修理をおこなわない**

- 発火や異常動作によるけがのおそれがあります。
- ※修理は弊社お客様サポートセンターにご相談ください。

**業務用に使用したり、屋外で使用しない  
本来の目的以外には使用しない**

**日本国内専用**

**一般家庭用**

**交流100V以外では使用しない**

- 感電、ショート、故障や火災の原因になります。



禁止

**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**

- たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火、感電の原因になります。

**傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使わない**

- 感電や故障、発熱や発火のおそれがあります。

**電源コードを束ねたり、引っばったり、無理に曲げたり、ねじったり、  
重いものをのせたり、加工したり、はさみ込んだり、高温部に近づけたり、傷付けたりしない**

- 傷んだまま使用すると、感電や故障、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグに触ったり、電源プラグの抜き差しをしない**

- 感電やけがのおそれがあります。



## 警告

水のかかりやすい場所や底部がぬれるような所に置いて使用しない

- 感電やショート、故障の原因になります。

氷を入れて保冷用に使い、結露を生じさせるようなことはしない

- 感電やショート、故障の原因になります。

MAX 1L (満水) ライン以上の水を入れない

- 沸騰時にあふれ出して故障ややけどの原因になります。

ケトルや電源プレートのコネクタ部に、ピンや針金などの金属物 (異物) を入れたり、ゴミを付着させない

- 感電やショート、発火の原因になります。

ケトルや電源プレートを落としたり、強い衝撃を与えたりしない

- 感電やショート、故障や破損の原因になります。

ケトルを転倒させたり、傾けたり、揺すったりしない

- お湯が流れ出てやけどしたり、本体の故障や破損の原因になります。



禁止

ふたをあけたまま沸かさない

- 故障や事故の原因になります。

湯沸かし中や沸騰直後にふたを開けたり、湯沸かし中に移動しない

- やけどやけがのおそれがあります。

湯沸かし中、ケトルの注ぎ口を布巾などでふさがない

- お湯が吹きこぼれて、やけどするおそれがあります。

ケトルは付属の電源プレート以外で使用しない

- 故障、火災の原因になります。

ケトルを直火 (ガス・レンジ台) や電気ヒーター、IH 電磁調理プレートなどの上にのせて使用しない

- 火災、故障の原因になります。

ケトルに水以外の液体や飲み物を入れて沸かさない

- お茶、牛乳、酒、ティーバッグ、お茶の葉、インスタント食品などを入れて使用すると、泡立って吹きこぼれ、やけどのおそれがあります。また、こげつきや腐食、故障の原因になります。

湯沸かし中、蒸気に手や顔を近づけたり、注ぎ口に触らない  
また、ふたを開けたり、水を足したりしない

- やけどやけがの原因になります。

## ⚠ 警告

電源プラグはコンセントに確実に差し込む

- 感電、発熱による火災の原因になります。

使用中、電源プラグや電源コードが異常に熱くなる時は、ただちに使用を中止する

- ショートや発火のおそれがあります。

異常時（焦げ臭い、異常に高温になった、煙が出た、動かなくなった）には使用を中止して、ただちに電源プラグをコンセントから抜く

- 火災や感電、事故の原因になります。

※修理は弊社お客様サポートセンターにご相談ください。



必ず守る

使用后（使用時以外）やお手入れの際は、必ずコンセントから電源プラグを抜く

- 絶縁劣化による感電、漏電火災や、けがの原因になります。

電源プラグを抜く時は、コードを持たずにプラグ部分を持って抜く

- 感電やショートの原因になります。

電源プラグのゴミやほこりは、乾いた布で定期的に取り除く

- ほこりに付いた湿気などで絶縁不良になり、火災のおそれがあります。

停電時にはスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜く

- 停電復旧時のトラブル防止のためです。

## 保護者の方へのおねがい

乳幼児のいらっしゃるご家庭でのご使用は、特にご注意ください。

**本製品は玩具ではございません**



禁止

子供だけで使用させたり、幼児の手が届くところで使用や保管はしない

- 感電ややけど、けがの原因になります。

おもちゃとして絶対に使わせない

- 感電ややけど、けがの原因になります。



必ず守る

◎乳幼児が、コンセントに接続された給電スタンドの接続コネクタをなめないように十分に気をつける



## ⚠ 注意

不安定な場所や熱に弱い敷物（じゅうたん・テーブルクロスなど）やカーテンなどの可燃物の近くでは使用しない

- ケトルが倒れた時にお湯が流れてやけどをしたり、火災やテーブル・敷物の変色、変形の原因になります。

壁や家具の近くで使用しない

- 蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、変色、変形の原因になります。

電源プレートにケトルをのせた状態で、水を注ぐことはしない

- コネクタなどに水がかかると故障の原因になります。

必ずケトルに水が入っていることを確認してから電源を入れ、空だきをしない

- 何度も空だきを繰り返しますと、故障の原因になります。



禁止

連続して何度もお湯を沸かさない

- 一度使用したら、しばらく休ませてから再度使用してください。

使用中、ケトルは熱くなりますので、取っ手以外の部分には決して触らない

- やけどの原因になります。

ケトルのふたを閉める時は、勢いよく閉めない

- 沸騰したお湯がはねたり、こぼれてやけどをするおそれがあります。

火気、可燃物の近くでは使用しない

- 変形、発火の原因になります。

火災報知器や探知機のそばで使用しない

- ケトルからの蒸気に反応するおそれがありますので、それらの近くでは使用しないでください。

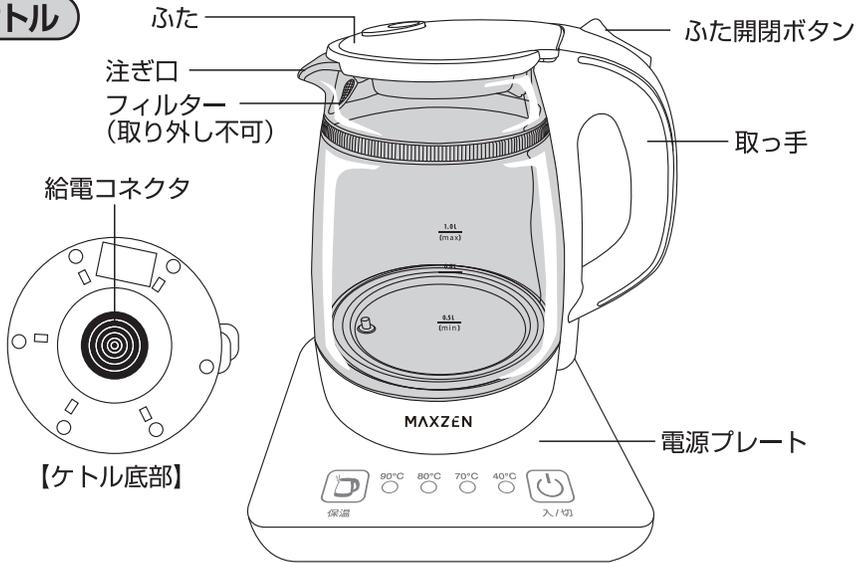
### — ミネラルウォーターの使用について —

一部のミネラルウォーターを使用すると、水面に細かな浮遊物や乳白色のザラザラした物がつくことがあります。

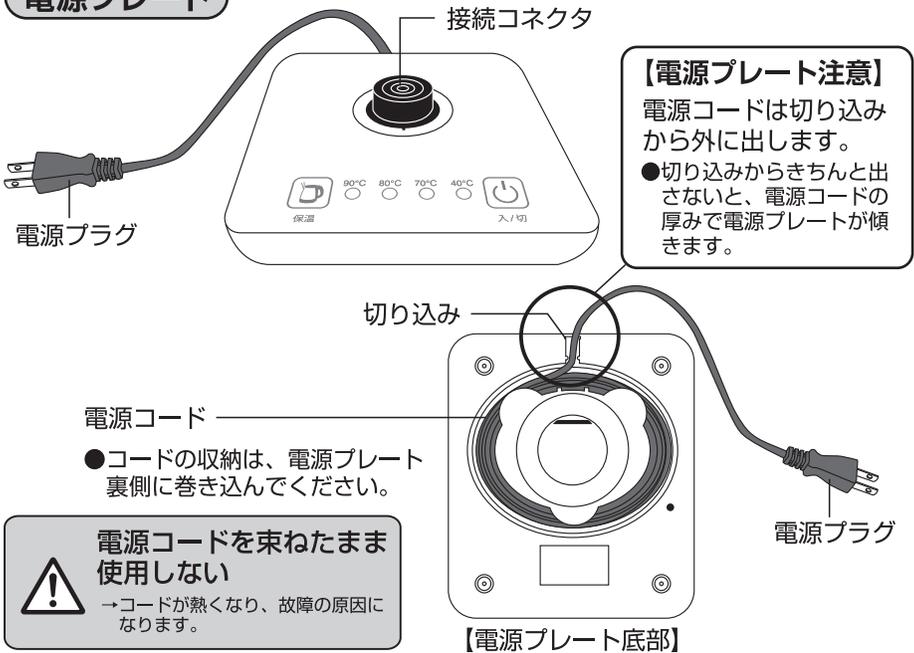
※これは水のミネラル成分であり、有害ではありません。

# 各部のなまえ

## ケトル



## 電源プレート

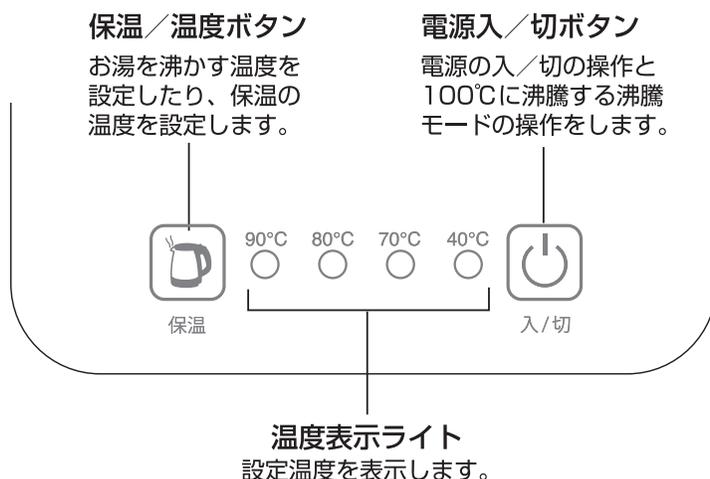


電源コードを束ねたまま  
使用しない

→コードが熱くなり、故障の原因になります。

# 操作パネルについて

## 操作パネル（電源プレート）



## 使い方

おねがい

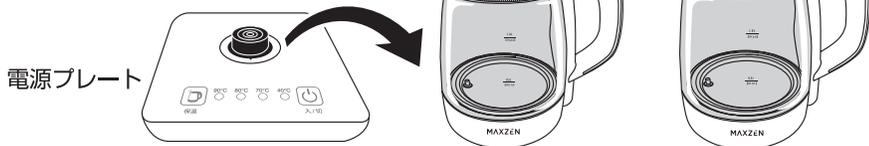
初めて使う時やしばらく使わなかった時には、下記の説明に従いケトル内部をすすぎ洗った後、以下の手順をおこなってからお使いください。

- ①MAX(1L)の目盛りまで水を入れ、お湯を沸かす
- ②お湯が沸いたら注ぎ口方向からお湯をすべて捨てる。

使用上の注意

- 本製品はケトルと電源プレートに分かれています。電源プレートはケトルをセットしないと操作できません。
- 本製品は温度調整をしながら加熱します。**温度設定時には「カチッ」と音がしたり、ケトルのLEDと電源プレートの電源が点灯と点滅を繰り返すことがあります**が故障ではありません。

- 1** 必ず電源プレートからケトルを外し、  
取っ手にある「ふた開閉ボタン」を  
指で押して、ふたを開けます。



- 2** 最初に別の容器から水位目盛りを確認しながら  
水を入れます。

- ※表示の満水ライン [MAX1L] 以上は絶対に水を入れない  
てください。沸騰時にお湯が噴き出すおそれがあります。
- ※ケトル底部に水がかからないようにしてください。
- ※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かすと水に含ま  
れるミネラルやカルシウムがケトル内部に付着しやすくなり  
ます。水道水のご使用をおすすめします。
- ※水以外のものは入れないてください。



- 蛇口から直接水をケトルに入れたり、電源プレートにケトルをのせたまま  
水を入れたりしない。
- ケトルをぬれた場所に置いて底部をぬらさない。  
→コネクタ部をぬらすと、感電やショートなどの故障の原因になります。

- 3** ケトルのふたを確実に閉めます。

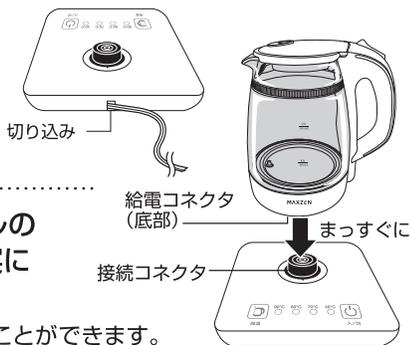
【注】 ふたをきちんと閉めないと、お湯が沸き、  
はねるおそれがあります。

上から指で押して「カチッ」と音がするように  
確実にケトルにふたをします。



- 4** 電源プレートの電源コードをプレート  
の切り込みから引き出して、電源プレ  
ートを平らな場所に置きます。

※切り込みから正しく出さないと、電源コード  
の厚みで電源プレートが傾きます。



- 5** 電源プレートの接続コネクタに、ケトルの  
給電コネクタをまっすぐ差し込んで確実に  
セットします。

※ケトルの向きは 360 度どの向きからでも置くことができます。

## 6 電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。

通電時、ピッと鳴ります。



### ⚠ 注意

AC100V のコンセントを単独で使用する  
→他の機器との併用は、発火・火災・故障の原因になります。

## 7 お好みのモードを選び、お湯を沸かします。

(モードについての詳細は：9 ページ)

※お湯が沸騰するまでの時間は、水量、水温、室温などにより多少異なります。

※ケトルのふたに結露がおこることがあります。使用後はふきとってください。

## 8 沸騰状態が収まったのを確認してから、電源プレートからケトルを外してお湯を注ぎます。

### ⚠ 注意

湯沸かし中、蒸気に手や顔を近づけたり  
ふたを開けたり、水を足したりしない

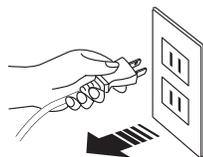
→やけどのおそれがあります。

沸騰直後にケトルのふたを開けたり、取っ  
手以外に触ったりしない

→やけどのおそれがあります。

沸騰後のケトルのふたを開ける際は、蒸  
気でやけどをしないように、蒸気の出が  
おさまってから開ける

→やけどのおそれがあります。



## 9 使用後は必ずコンセントから電源プラグを抜きます。

### — 空だき防止機能について —

### ⚠ 注意

空だきしない

●空だきすると、故障・事故の原因になります。沸騰モードのときは電源オフになります。

●ケトルが空の状態でも沸騰モードで運転すると空だき防止機能が働き、電源が OFF になります。ただし、沸騰→保温モード、保温モードの場合は電源 OFF になりません。

●空だき防止機能が働いた場合、必ずコンセントからプラグを抜いてください。本体を電源プレートから外し、十分に冷めてからもう一度使用してください。

# モードについて

## 沸騰モード～お湯を沸かす～

- ① ケトルを電源プレートにセットし、「」電源入/切ボタンを押します。
- ② 加熱がスタートし、ケトルのLEDが青く点灯します。
- ③ 100℃になると、LEDが消灯し、ピーと鳴って完了します。  
※沸騰後、自動で電源OFFになります。



※加熱を中止するときは、電源入/切ボタンを押します。

## 保温モード～好みの温度に温める～

- ① ケトルを電源プレートにセットし、「」保温/温度設定ボタンを押します。
- ② 保温/温度設定ボタンで好みの温度を設定します。  
90℃→80℃→70℃→40℃→切の順で切り替わります。

最初に電源入/切ボタンを押してから保温/温度設定ボタンを押すと、100℃に沸騰してから徐々に温度が下がり、設定した温度になります。(10ページ参照)

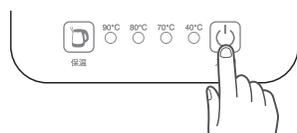


- ③ 設定した温度のライトが点滅し、加熱がはじまります。設定温度に達するとLEDは点灯します。
- ④ 設定した温度に達するとライトが点灯し、保温がはじまります。(保温時間は設定後約12時間です。)水温が保温温度より低くなると再び加熱します。電源プレートのライトは点滅し、ケトルのLEDが点灯します。



- ⑤ 保温を切るときは、電源入/切ボタンを押し、電源を切ります。

※お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などにより異なります。



### ⚠ 注意

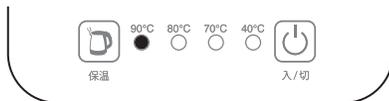
すぐにお湯を使わない場合は、電源入/切ボタンか保温/温度ボタンで保温をOFFにする。  
また、お湯を使用して、再度保温する際はお湯が最小水位-min-を下回らないようにする。

## 沸騰→保温モード～お湯を沸かしたあと保温する～

- ① ケトルを電源プレートにセットし、「」電源入／切ボタンを押します。



- ② 保温／温度設定ボタンで沸騰後の保温温度を設定します。  
90℃→80℃→70℃→40℃→切の順で切り替わります。



- ③ 設定した温度のライトとケトル本体のLEDが青く点灯し、加熱がはじまります。



- ④ 沸騰するとピーと鳴り、保温に切り替わります。設定温度ライトは点滅し、ケトル本体のLEDが消灯します。



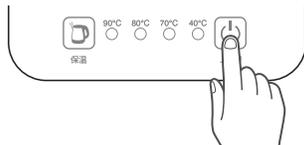
- ⑤ 設定した温度に達すると設定温度ライトが点灯します。(保温時間は設定後約12時間です。)

※設定温度を保つために、サーモスタットが入切を繰り返します。そのため、設定温度ライトが点灯、消灯を繰り返します。  
※温度が自然に下がるため、設定温度まで時間がかかります。



- ⑥ 保温を切るときは電源入／切ボタンを押し、電源を切ります。

※お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などにより異なります。

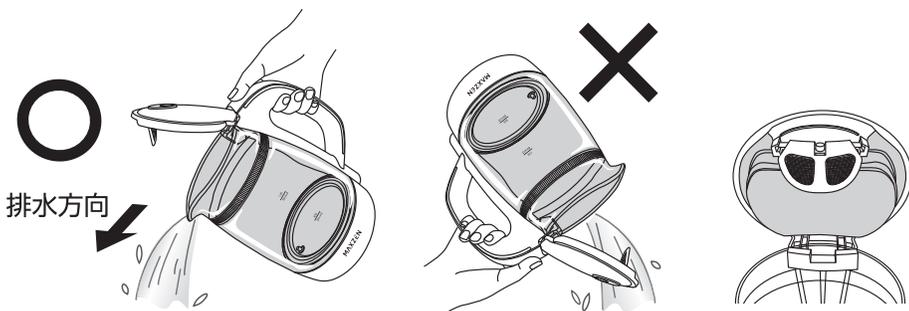


### ■保温中に保温温度を変更する場合

- ・最初に設定した保温温度より低くする場合は、保温／温度ボタンを押して温度を選んでください。再度設定した温度まで下がるとその温度で保温します。

●排水時、本体にお湯がかからないようにしてください。

下図のように正しい方向から排水しないと、ケトル内部に水が入り故障する原因になったり、手にかかり、やけどの原因になります。



ケトル内側の汚れ（白い浮遊物、虹色などの変色、赤さび状の斑点など）は、水に含まれるミネラル成分やカルシウムの作用によるものです。衛生上は問題ありませんのでご安心ください。

湯あかなどの汚れが目立ってきたら下記の方法でお手入れしてください。

■湯あかの落とししかた：週に一度お手入れすることをおすすめいたします。

①ケトルに水と酢（水：酢＝3：1）を入れて、2～3回沸騰させます。

②水と酢を捨てよくすすいだ後、柔らかい布で水分を拭き取ります。

※空だきによる内側の変色は取れません。



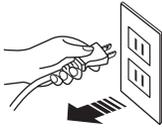
ステンレス部分は、性質上湯あかが付着し変色することがありますので、時々柔らかいスポンジなどで洗浄してください。

ステンレス部分は強くこすりすぎないでください。表面に傷が付くおそれがあります。

## お手入れのしかた



**必ず電源プラグを  
コンセントから抜く**



ケトルが完全に冷めてからお手入れをする  
→やけどの原因になります。

クレンザー・シンナー類・金属たわし・ナイロン  
たわし・漂白剤・化学ぞうきんなどは使用しない  
→傷をつけたり変色の原因になります。  
食器洗浄機、食器乾燥機は使わない

### ケトル・電源プレート

**水洗いできません。事故、故障の原因になります。**

- ①水で薄めた中性洗剤を含ませた布を硬く絞って表面の汚れを拭き取ります。
- ②洗剤や水分が残らないように乾いた布で全体をから拭きします。

※電源プレート、接続コネクタ部分は  
ぬれた布で拭かないでください。

ふたの内側に付いた水分は、乾いた  
布でしっかり拭き取ってください。



### 電源プラグ 水洗いできません。

- 定期的にゴミやほこりを乾いた布で拭き取ります。  
ほこりに付いた湿気などで絶縁不良になり  
火災のおそれがあります。



### 保管のしかた

- 汚れをしっかり拭き取り、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- 直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
- 子供や幼児の手の届かない所で保管してください。

### 廃棄のしかた

- お住まいの各自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

## 故障かな?と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



**警告**

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

こんなとき	お調べいただくこと / なおしかた
電源が入らない LEDが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンセントに電源プラグが確実に差し込まれていますか？ →電源プラグを確実に差し込んでください。</li> <li>●電源は ON になっていますか？ →電源を入れてください。(7 ページ参照)</li> <li>●空だき防止の安全装置が働いていませんか？ →ケトルを冷ましてから水を入れてください。</li> <li>●電源プレートに正しくケトルがのっていますか？ →ケトルを正しくのせてください。(7 ページ参照)</li> </ul>
沸騰しているのに なかなかスイッチ が切れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンセントから電源プラグを抜き、本体を完全に冷ましてから以下の 2 項目を確認してください。</li> <li>①ケトルのふたが確実にセットされているか確認する。</li> <li>②電源入/切ボタンを押し、ON/OFF を数回繰り返し押し。確認後、再度お湯を沸かして電源スイッチが切れるか試してください。</li> </ul>
湯沸かし中「ゴー」 という音がする	湯沸かし中に発生する泡がはじける音ですので、問題はありません。
保温モード中に本体から カチッと音がする 保温モード中に電源 プレートの LED が 点灯、消灯する	サーモスタットの働きによるものです。故障ではありません。
ふたが結露する	気温差で結露することがあります。故障ではありません。
電源コードが 熱くなる	湯沸かし中に電源コードが熱くなることがあります。故障ではありません。
お湯がにおう	<p>使いはじめはプラスチックなどのおいがすることがあります。 →使用とともになくなります。</p> <p>水道水に含まれるカルキ臭(消毒系塩素)が残ることがあります。 →ケトルの内側をお手入れしてください。(11 ページ参照)</p>

## 製品仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	870W
温度ヒューズ	192℃
タンク容量	約 1L
重量	電源プレート含む = 約 1.54kg 電源プレート含まず = 約 880g
サイズ	電源プレート含む=約(幅)23×(奥行)20×(高さ)24.5cm 電源プレート含まず=約(幅)21×(奥行)13.5×(高さ)20cm
材質	ポリプロピレン樹脂、ステンレス、ガラス
機能	沸騰後自動スイッチ OFF (沸騰モードのみ)、 空だき防止 (沸騰モードのみ)
電源コード長さ	約 120cm
生産国	中国

輸入元: **MARUTAKA** (株式会社 丸隆)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

《お客様サポートセンター》 TEL 0120-104-300/FAX 03-5365-3883

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際には、製品名・品番をご連絡ください。

# 保証書

本書は、本書記載内容(無料修理規定に基づく)で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日より下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	温調機能付電気ガラスケトル	品番	JKT10MTO1
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	本体お買い上げ日より1年間
お客様	お名前 <span style="float: right;">様</span>		
	ご住所 〒 -		
	お電話 ( )		
販売店	住所・店名		
	電話 ( )		

販売店様へ※印欄はお買い上げ日を必ずご記入のうえお渡しく下さい。(販売店印がない場合は、領収書またはレシートを貼ってください。)

## 保証規約

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従って正常な使用状態で故障した場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえお買い上げの販売店まで修理をご依頼ください。
  - 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
  - ご購入の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
  - ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店にご依頼ができない場合は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
  - 保証期間内でも次の場合には有料となります。
    - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障や損傷。
    - お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
    - 火災、地震、水害、落雷その他天災地変や異常電圧による故障および損傷。
    - 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)やポータブルバッテリーなどで使用された場合の故障および損傷。
    - 本書の提示がない場合。
    - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
    - 正規販売店以外(オークションや中古販売品、個人売買品、未開封の二次販売など)での購入の場合。
  - 保証書は日本国内においてのみ有効です。
  - 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくはお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
- ※この製品のスペアパーツをお客様にお届けできる期間は、製造終了後3年間までです。(流通在庫の関係で期間内でもお届けできない場合があります。)

**MARUTAKA** (株式会社 丸隆)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

「お客様サポートセンター」 TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際は、製品名・品番をお伝えください。